

議会改革特別委員会報告

高島市議会に関する市民意向調査
結果報告書（概要版）

I. 調査実施の背景と目的

高島市議会では、平成23年2月の臨時会において、議会の一層の活性化やその果たすべき役割を認識し、議会の自己改革を進めることを目的に「議会改革特別委員会」を設置しました。

この特別委員会では、「議会運営の検証と議会改革に関する調査検討」と「議員定数の適正規模の検討」を行い、市民に開かれた議会、市民に身近で信頼される議会をめざして調査検討を進めています。

今回の「高島市議会に関する市民意向調査」は、市議会に対する民意の反映と市民参加を進めるため、市民の皆さまの現状の議会に対する評価と議会改革に向けてのご意見を把握し、今後の議会改革に反映することを趣旨として実施したものであり、674人の方から回答をいただきました。本アンケートの趣旨をご理解いただき、調査にご協力いただきましたことに厚くお礼申し上げます。

II. 調査の方法・回収状況

- 1 調査期間：平成23年11月25日～平成23年12月31日
- 2 調査対象：20歳以上の高島市民 1,085人
区長および自治会長（H22・H23） 339人
- 3 調査方法：郵送配布—郵送回収（回収は無記名による）
- 4 回収状況：発送数／1,424人 回収数／674人 回収率／47.3%

III. 調査項目

- 1 回答者の年齢・性別（問1・問2）
- 2 市議会に対する関心度（問3・問4）
- 3 市議会だよりに対する関心度（問5）
- 4 市議会情報の入手方法（問6）
- 5 市議会の広聴に関する評価（問7・問8）
- 6 市議会議員の活動に対する評価（問9）
- 7 意見・要望（問10）
- 8 請願・陳情（問11）
- 9 議員定数について（問12）
- 10 議員報酬について（問13）
- 11 議会改革の必要性（問14）

IV. 集計結果について

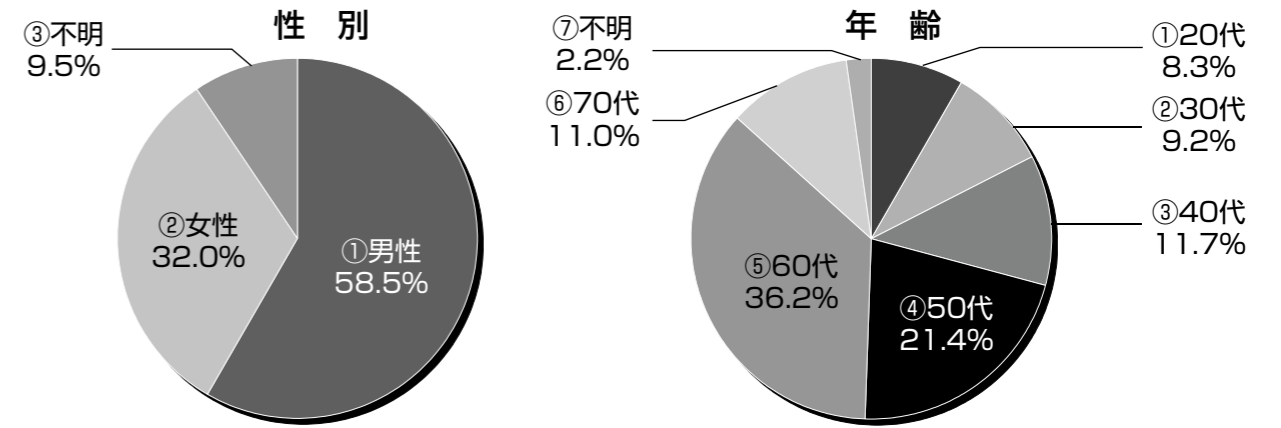
アンケートの調査結果は、市ホームページで詳しくご覧になれます。

<http://city.takashima.shiga.jp> ⇒ Web市議会 ⇒ 「市議会に関する市民意向調査結果」

集計結果

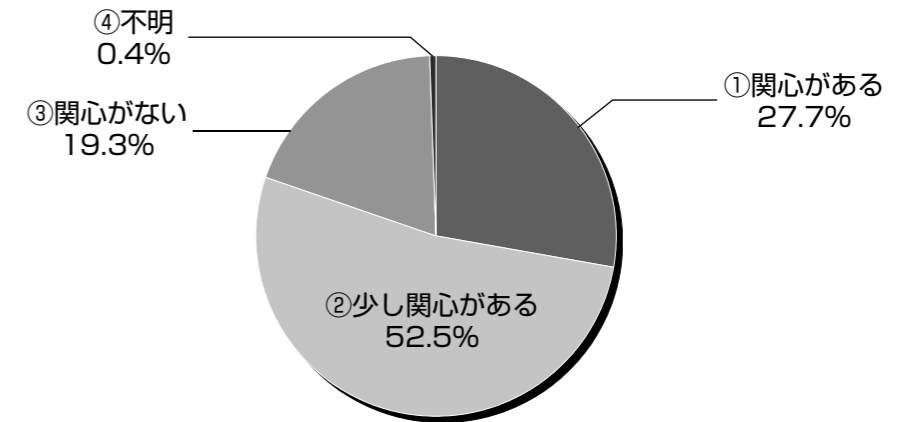
問1・2 あなたの性別と年齢を教えてください。

674人の方からご回答をいただきました。区長、自治会長様も対象にしたことから男性の割合が58.5%となり、50代～60代の割合が高くなっています。



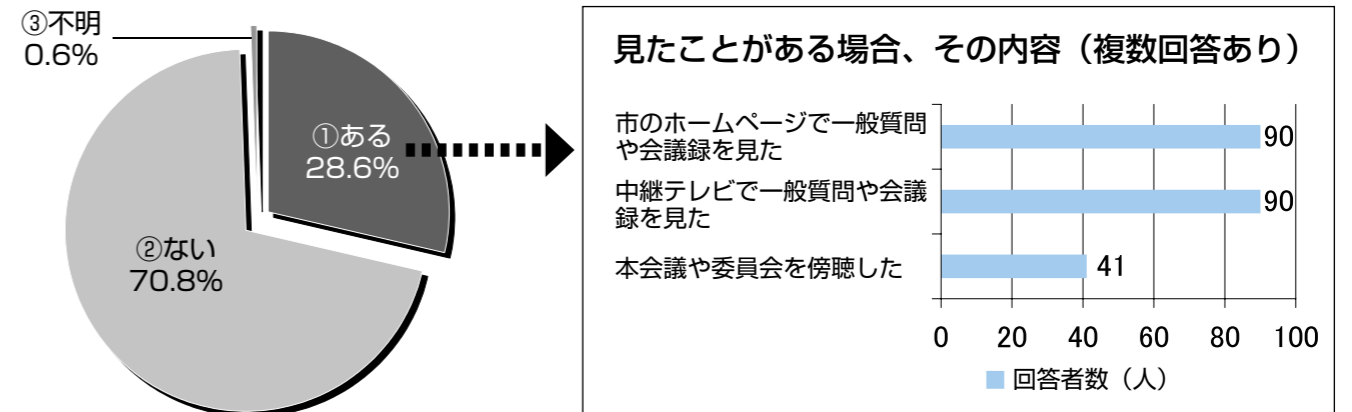
問3 市議会に関心がありますか。

「少し関心がある」が52.5%と最も多く、「関心がある」の27.7%を合わせると、8割以上の方が市議会に関心を持っていただいています。



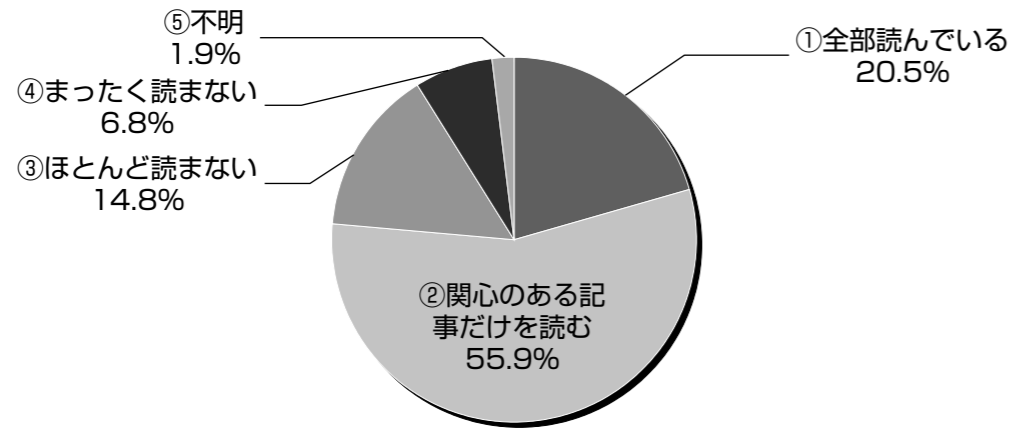
問4 市議会の会議を見たことがありますか。

7割の方が「見たことがない」と圧倒的に多く、「ある」と答えられた28.6%は、「市のホームページ」や「支所や公民館の中継テレビ」で一般質問のようすや会議録をご覧になっています。



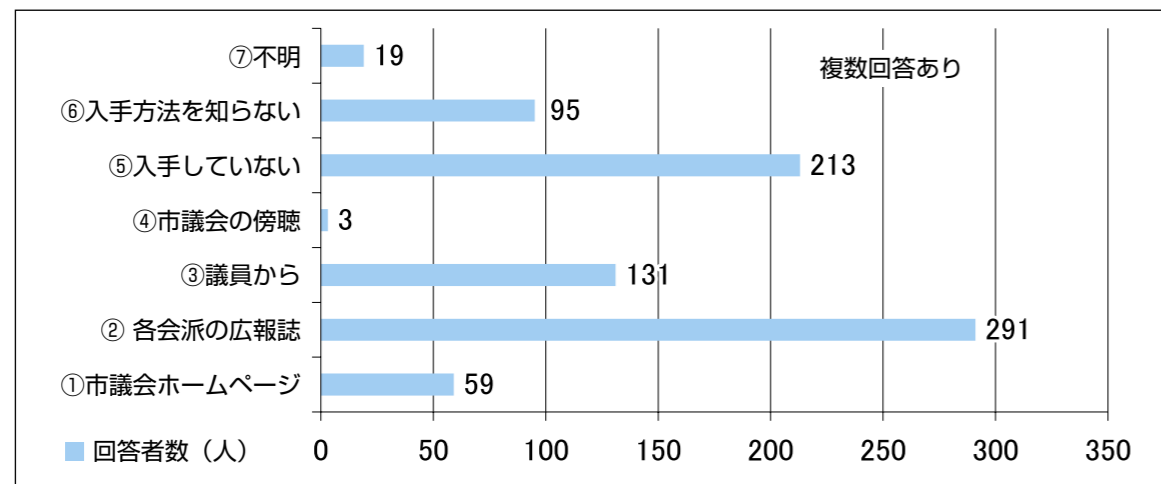
問5 「市議会だより」を読んだことがありますか。

「全部読んでいる」20.5%、「関心のある記事だけを読む」の55.9%を合わせると76%の方が何らかの形で関心を持って市議会だよりを読まれています。



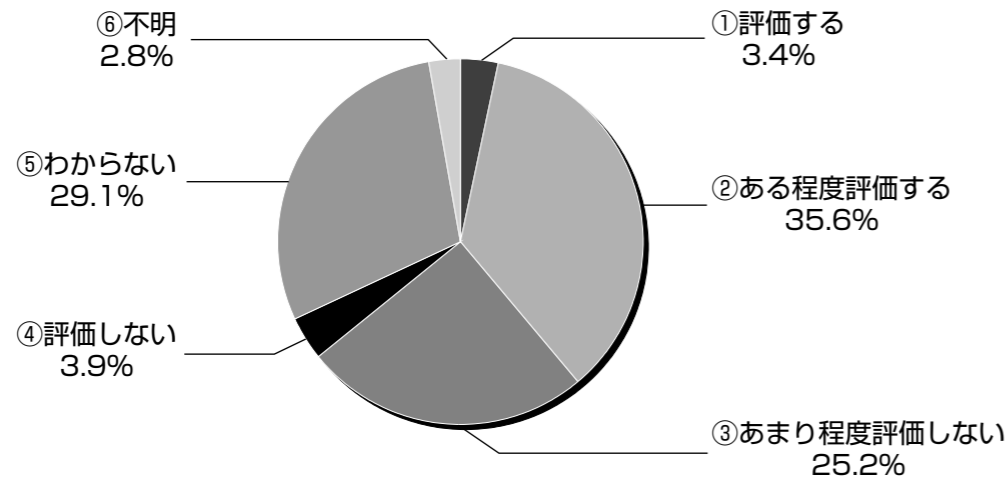
問6 市議会だより以外では、どこから議会情報を入手していますか。

市議会だより以外では、会派の広報誌から情報を得られている方が最も多数を占めています。



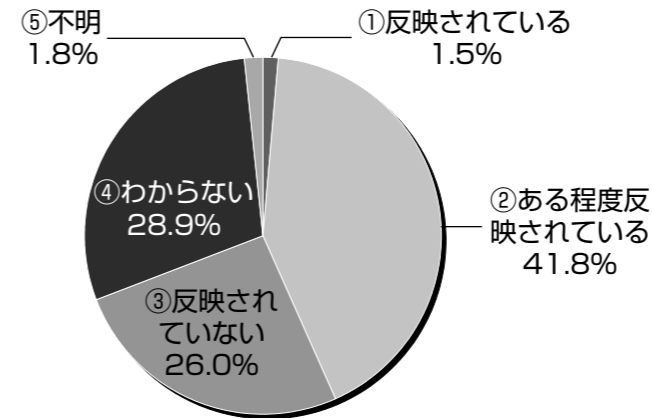
問7 現在の市議会をどの程度評価しますか。

「評価する」は3.4%とわずかですが、「ある程度評価する」が35.6%を占めており、「あまり評価しない」、「評価しない」を合わせた29%を上まわっています。



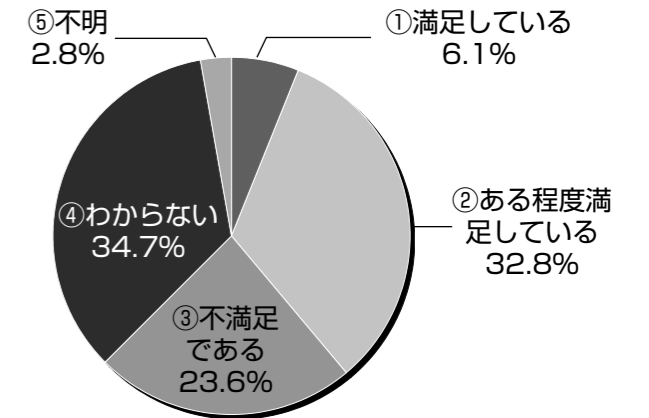
問8 市民の声が議会で反映されていますか。

「反映されている」、「ある程度反映されている」が43.3%、「反映されていない」が26%おられます。



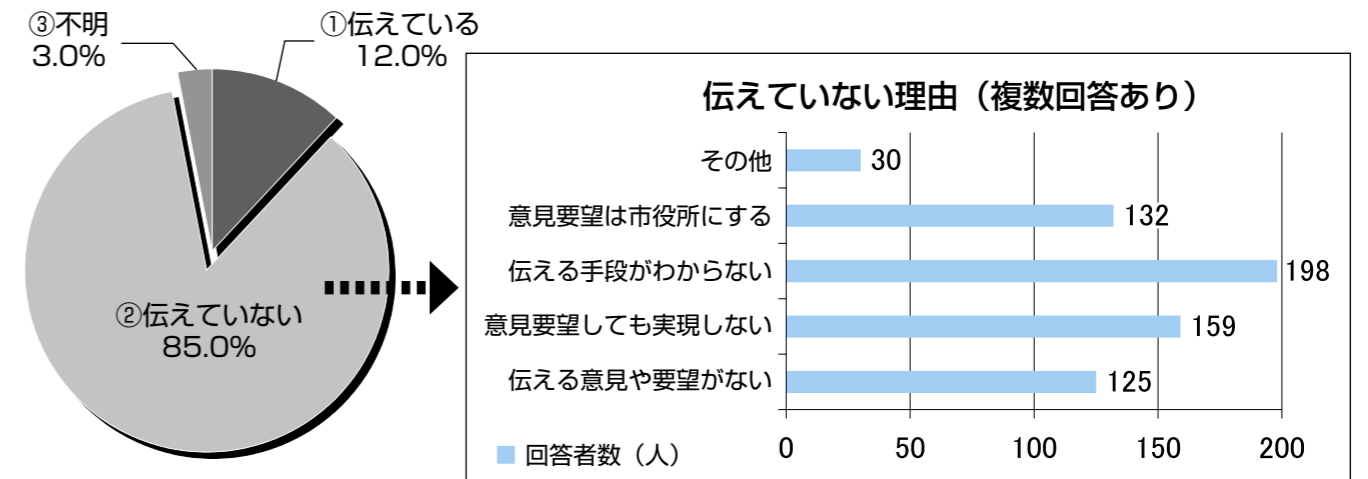
問9 選んだ議員の活動に満足していますか。

「満足している」、「ある程度満足している」が38.9%、「不満足である」が23.6%おられます。



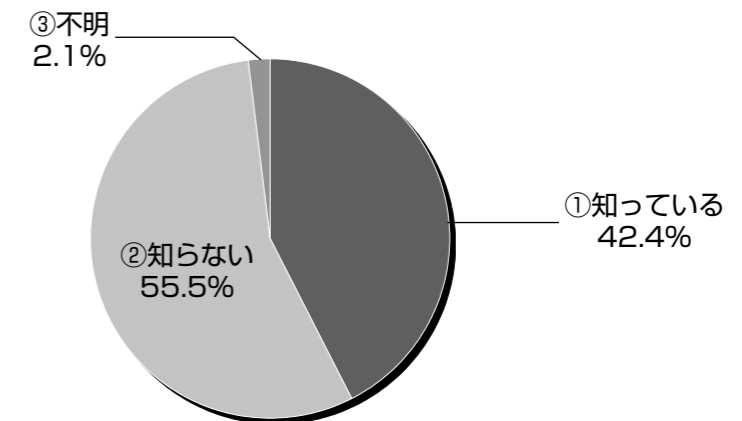
問10 市議会に自分の意見や要望を伝えていますか。

「伝えない」方が85%おられ、その理由として「伝える手段がわからない」が最も多数を占めました。



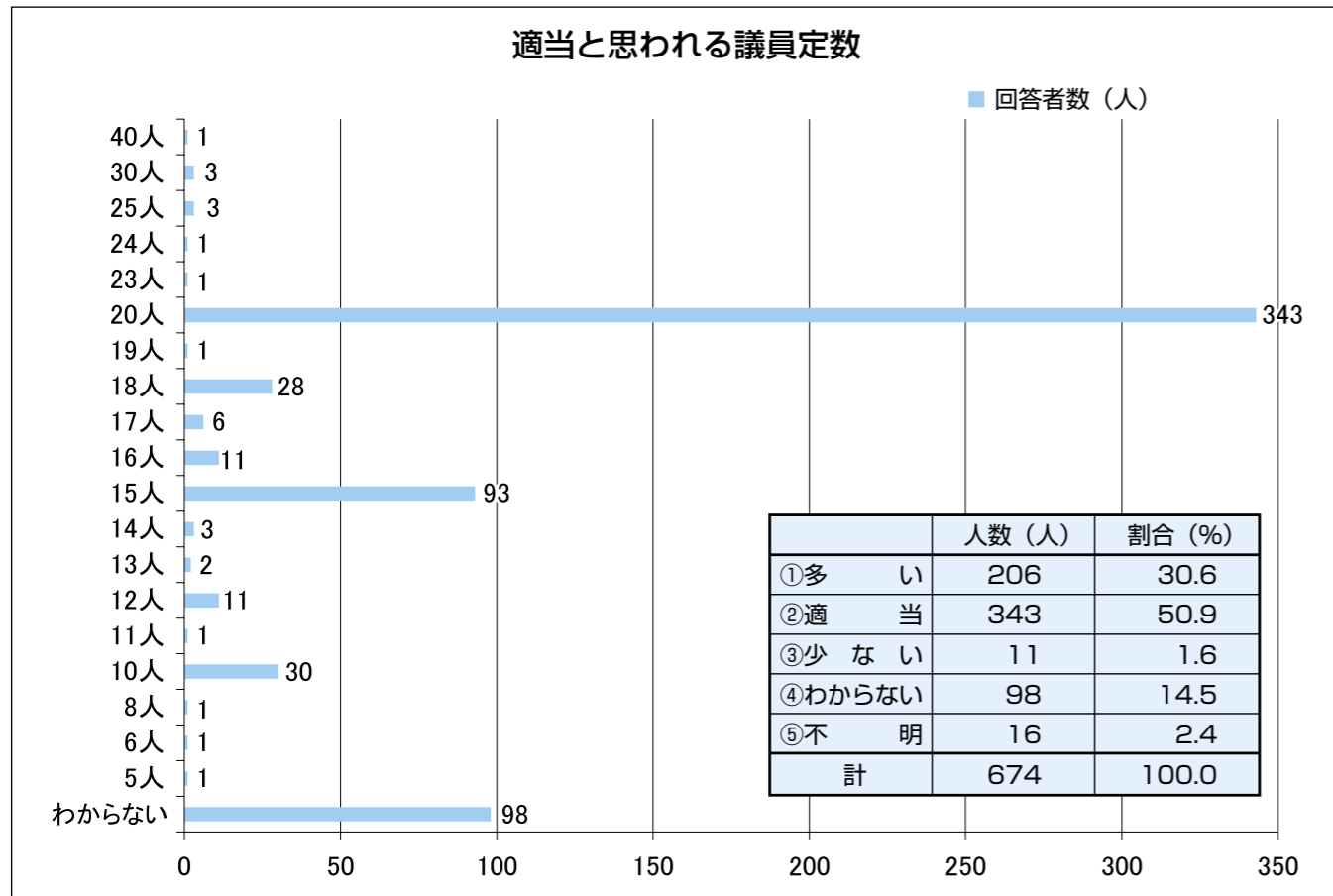
問11 市政への意見等について請願や陳情を市議会に提出できることを知っていますか。

「知らない」の55.5%が、「知っている」の42.4%を上まわっています。



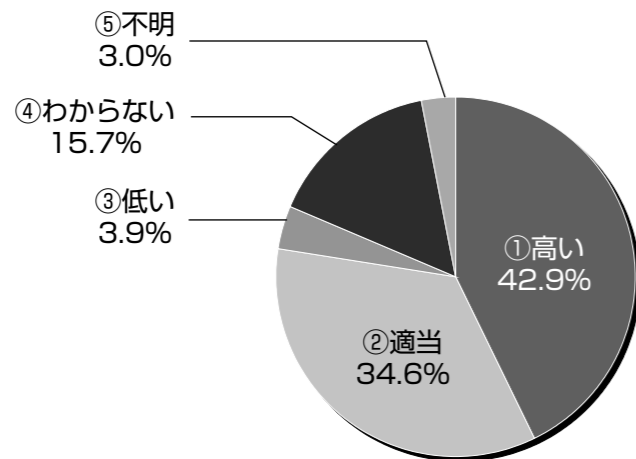
問12 高島市議会議員の定数は20人です。この人数についてどう思いますか。

20人を「適当」とされた方が50.9%と最も多く、次いで「多い」が30.6%、「わからない」が14.5%ありました。「多い」または「少ない」と回答された方には適当と思われる人数を記入いただきました。その結果を下のグラフで表しています。なお「適当」と回答された方は20人として表しています。



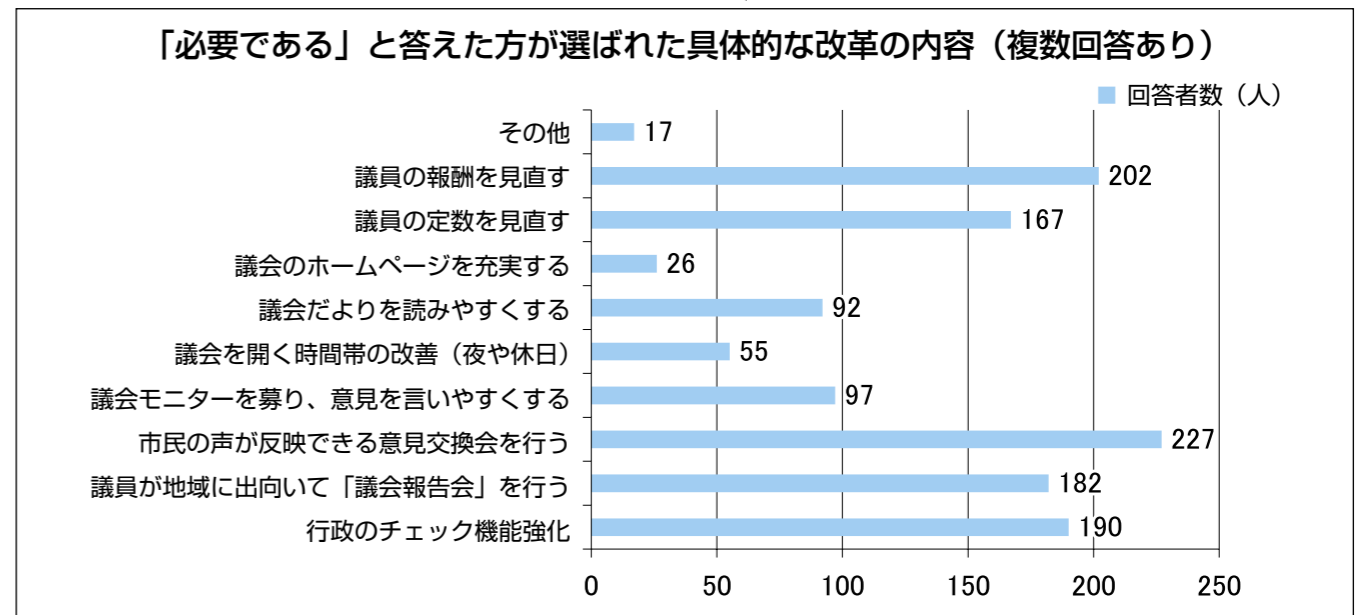
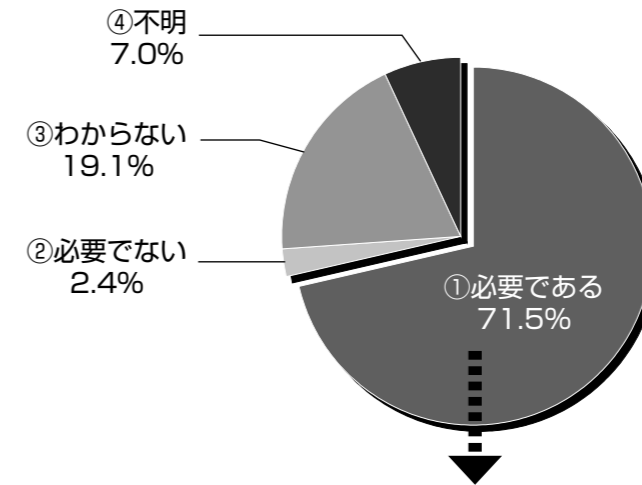
問13 高島市議会議員の報酬は、月額31万円(税込)です。この金額をどう思いますか。

議員報酬については「高い」が42.9%、「適当」が34.6%、「低い」が3.9%となっています。



問14 市議会の改革が必要だと思いますか。

議会改革が「必要である」が71.5%と圧倒的に多く、その具体的な内容としては「市民の声が反映できる意見交換会を行う」が最も多くありました。



今回の市民意向調査では、1,424人の市民の皆さんに調査の協力をお願いし、674人の方に回答をいただきました。回収率が47.3%に達し、延べ約350人の方から市議会や議員へのご意見・ご要望の自由記述を記入いただきましたことは、市議会に対する潜在的な関心の高さに議員一同身の引き締まる思いです。

今回の調査や自由記述の中で、「市民にとって市議会や議員の活動がよく見えない、分からない」というご意見が多く、そのことが今後議会として解決すべき重要な課題であることが明らかになりました。

各設問において、「わからない」を選択された方が相当数ありましたし、議員定数や議員報酬に対する自由記述意見においても、議会活動や議員活動の実態がわからないから、議員定数が多いのか少ないのか判断ができない。同様に、議員報酬についても活動内容がわからないから報酬の額が判断できない、といった意見を多くいただきました。

このように、議会からの情報発信が足りないと感じられていることは、上記設問14の議会改革に求める具体的な内容で、「市民の声が反映できる意見交換会」を求める意見が最も多かったことから伺えます。

議会改革特別委員会では、今回の調査結果を参考にして、市民の皆さんが日頃感じておられる議会のあり方や議会として取り組むべき課題を明らかにするとともに、今後も20名の議員が一丸となって市民にわかりやすい、開かれた議会に向けて一層努力し、議会改革を進めていきたいと考えています。本意向調査にご協力いただき、貴重なご意見をお寄せいただきましたことに対しまして厚くお礼申し上げます。

議会改革特別委員会